

### 第2期港南区地域福祉保健計画 地区別計画中間振り返り特集

第二弾!

#### 計画の後半に向けた中間振り返りを行いました

地域の活動の振り返りは、日頃の会議や懇談会などを通して、地域の中で日々行われています。平成25年度は、第2期港南区地域福祉保健計画の中間年ということで改めて場を設け、これまで取り組んできた様々な活動の振り返りが行われました。今回は15地区のうち、港南台地区、永野地区、日野第一地区、日下地区、ひざり地区、日野南地区、上大岡地区、笹下地区の8つの地区の振り返りの様子や、参加された方々の感想などを紹介します。



#### 心かよわせ 響きあう街港南台 港南台地区

港南台地区では、「ふれあう・助けあう・参加するまち」を目指して、「高齢者」「防災」「こども」などをテーマに毎年イベントを行ってきました。港南台地区には地域の活動の拠点が複数あり、イベントを福祉施設などで行うことで地域の関心を集める工夫をしています。今回の振り返りは、地域支えあいネットワーク連絡会の場で、活動発表という形で行われました。子育て連絡会とシルバークラブのこれまでの取り組みの発表や、その後の意見交換などを通して、様々な活動から地域のつながりが生まれたことを再確認できたようです。



##### 参加者の声

- 担い手の確保がこれからの課題だと思いました。
- 活動の様子を改めて知ることができました。

スクリーンなどを使用している活動発表の様子。

#### くらしをじぶんたちでらくにする 永野 永野地区



永野地区は、その地形をなぞるとクジラの形に見えることから、地域福祉保健計画に「くじら計画」という愛称をつけました。推進3年目にあたり中間振り返りをしたことで、現在行っている多くの活動は長年継続されており、それがきちんと地区別計画の目標に沿ったものであることが確認できました。

今後2~3年で計画実現させたいものの中には、ほかの地区や団体などと、より一層のつながりや結束力を強めていかなければならないものもあります。これからも「くらしをじぶんたちでらくにする 永野」をスローガンに進めていこうと、参加された皆さんで共有できたようです。



##### 参加者の声

- 活動継続のためには、内容を充実させていかなければと感じました。
- 子どもが育つ環境について興味を持つ親が増えてきたと思います。

振り返ったことをボードに記入し整理します。

#### 日野第一「ふれあい ささえあいのまち」をめざして 日野第一地区

振り返りでは、いざというときのための顔の見える関係づくりの大切さについて話題に上がり、フェスタや七夕祭りなど、多世代で取り組める行事での顔合わせや交流が災害時の助け合いにつながっていくと再確認しました。また、振り返りに参加された地域の皆さんは、これまでの活動を思い返すことで、各々の取り組みが充実してきていることを実感したようです。

日野第一地区は、ひとつの地区の中でも高齢者が多かったり、子育て世代が多かったりと、地域によって住んでいる人の年代が様々なことが特徴の地区です。高齢者の介護予防活動や見守り活動、子育てサロンなどの子育て支援のほか、世代を超えた交流活動を行ってきました。



地区別計画の資料を机上に振り返りを行いました。



##### 参加者の声

- 地域の課題を確認するきっかけになりました。
- 地域で相互理解を深め、役割分担していくことが大切だと思います。

#### \*日下地区地域福祉保健計画\* みんなでつくりよう!元気なまち 日下 日下地区

活動の振り返りを行っている地域づくり運営協議会の委員の方や各自自治会町内会会長、活動団体の方など27名が参加し、日々の取り組みの振り返りや意見交換を行いました。

話し合いを通して、若い世代が地域で活躍するための工夫などを確認し、これからの課題や、これまで継続できたこと、充実してきたこと、効果があったことなどを共有できたようです。

日下地区では、若い世代のボランティアグループが組織されたり、健康づくりのための体操教室や高齢者給食会が開催されたりと、地域での様々な活動が活発に行われてきました。今回の振り返りには、地域の会議で毎年



グループに分かれて意見交換をしました。



##### 参加者の声

- さらなる若い方の活用が重要だと感じました。
- 活動を継続する難しさを実感しました。

#### わが街ひざり・いきいき幸せプラン ひざり地区

ひざり地区は、地域福祉保健計画の策定以前から、大人も子どもも「この街の安心・安全をどう考えるか」に関心をもち、「お互い様助け合いの気風を広めるために何をすべきか」を話し合い、活動を行ってきた地区です。「明日を考える会」が実施した、交差点や小学校の校門前にのぼり旗を立てあいさつを行う「あいさつ運動」には、平成24年度の1年間で、延べ250人余りが参加しました。今回、中間振り返りを行い、「わが街ひざり・いきいき幸せプラン」の推進を参加者の皆さんで再確認したことで、これまで行ってきた活動を継続発展させていくには、新しい人の参入しやすい雰囲気をつくるのが課題であると改めて共有できたようです。

ひざり地区は、地域福祉保健計画の策定以前から、大人も子どもも「この街の安心・安全をどう考えるか」に関心をもち、「お互い様助け合いの気風を広めるために何をすべきか」を話し合い、活動を行ってきた地区です。「明日を考える会」が実施した、交差点や小学校の校門前に



##### 参加者の声

振り返りをして、今までとは違った視点でこれまでの活動を捉えることができました。

これまでの活動を確信し、熱心に振り返りを行いました。

# こころつなぐ日野南

## 日野南地区

化したりと、地域の人々のつながりを大切にしたい取り組みを数多く行ってきました。

今回の振り返りを通して、世代を超えた交流や顔の見える関係ができてきたといった、地域の人々のつながりづくりに関する手ごたえを感じられたようです。また、活動の担い手の確保や見守りの一層の強化など、今後の取り組みの課題を再確認できたようでした。

日野南地区は、高齢化が急速に進む中、地区全体で見守り活動の共有や防災の取り組みを行うなど、地域で一体となり活動を進めてきた地区です。日野南連合自治会、日野南小学校等17団体による学童のお楽しみ会を開いたり、緊急時の向こう三軒両隣の協力を強化

熱心に資料を読む皆さん。

時には笑いが起こることも。



参加者の声

世代の違いにとらわれない地域の交流が進んできたと感じます。

発展する上大岡

# つながりあい・支えあえるまちづくり

## 上大岡地区

がつながるきっかけになったり、情報共有が進んだりしました。

今回の振り返りでは、新たに始めた取り組みや継続してきた活動を再確認しました。「上大岡まつり」の開催が地域のつながりや若い世代の活動の場づくりにつながったことや、防災訓練を実施したことによって避難場所の活用方法が住民に広がったことなど、手ごたえを感じられたようです。

上大岡地区では、災害対策委員会を立ち上げ、いっとき避難場所を13か所設置したり、連合町内会・地区社協で第1回「上大岡まつり」を開催したりと、新たに取り組みを進めてきました。また、「みんなで上大岡を考える会」は、地域の皆さん



これまでの活動の成果について多くの意見がありました。



参加者の声

- 行事や話し合いに様々な人を取り込んでいくことが大切だと思いました。
- それぞれの団体が頑張っていると実感できました。

# さわやかに さえあう げんきなまち

## 笹下地区

笹下地区は、それぞれの自治会町内会で地域特性に合わせて活発に活動を行っている地区です。また、子どもが多く参加する防災キャンプやささげ祭りなど、笹下地区全体でも多くの取り組みを行っています。今回の振り返りでは、これらの多くの活動を継続してこられたことや、若い世代を地域の活動に取り込んでいく工夫などについて再確認できたようです。

笹下地区は、それぞれの自治会町内会で地域特性に合わせて活発に活動を行っている地区です。また、子どもが多く参加する防災キャンプやささげ祭りなど、笹下地区全体でも多くの取り組みを行っています。今回の振り返りでは、これらの多くの活動を継続してこられたことや、若い世代を地域の活動に取り込んでいく工夫などについて再確認できたようです。



参加者の声

- 地域のことについてじっくり話し合うことができました。
- 地道に取り組んでいることがたくさんあると気付くきっかけになりました。
- 地域の活動をまとめる良い機会になりました。

今回の振り返りで地域の取り組みを共有しました。



# 平成25年度 地区別計画推進研究会を開催!

第2期港南区地域福祉保健計画策定から3回目となる今回の研究会のテーマは、地区別計画の「振り返り」。「芹ヶ谷」「野庭住宅」「港南台」「ひざり」の4地区で行われた中間振り返りの発表を参加者全員で共有したり、区内15地区それぞれの地区別計画の振り返りで確認しあえたことや得たものについて4つのグループに分かれて意見交換を行いました。



15地区の様々なノウハウを持ち帰り各々の地域の活動に還元してもらえようように地域の福祉保健活動のまとめ役をしている方々に参加いただきました。

今回のコーディネーター 田園調布学園大学の村井教授



芹ヶ谷地区



野庭住宅地区



港南台地区



ひざり地区

各地区の中間振り返りの発表



グループにわかれての意見交換



グループ毎に話し合った内容を発表

参加者の声

- 参考になる点があり、じぶんの地域でも取り入れたい。
- 「担い手の確保」という共通の課題が見えてきた。

## ● 研究会で見つけたキーワード ●

今回も研究会のコーディネーターとしてお越しいただいた田園調布学園大学の村井祐一教授と、各地区の活動の良い点や特徴、課題などを整理していくと、「子ども」「防災」「活動の担い手の発掘」といった共通のキーワードが浮かび上がりました。このキーワードは、これからの活動のヒントであり、振り返りの場や、意見交換のときに皆さんの声から生まれたものです。「振り返り」から見えたきた地域の強みを活かしながら、活動をどのように発展できるか、どのように地域の課題に取り組んでいくとよいかなど、第2期港南区福祉保健計画の後半2年の集大成に向けて、皆さんと共に考えていきたいと思ひます。